

学校教育目標

自らの未来を拓く、心豊かで自立した生徒の育成 「自律・尊重」

目指す生徒像

自分とは異なる考え方や立場の人をも尊重しながら、自分の足でしっかりと立つことを「自立」と呼び、自らが主人公として、自分の未来を心豊かに切り拓く力をつけることを目指す。

「自律」・・・志に向かって自ら考え、学び、成長しようとする生徒

「尊重」・・・違いを認め、互いを尊重し、共に生きる生徒

育成したい資質・能力

- 1 場と状況に応じて適切に判断し行動する力
- 2 自分の考えをもち、相手意識をもって表現する力
- 3 多様な他者を尊重する姿勢
- 4 主体的に課題解決に取り組む力

目指す教職員像

- ・生徒一人一人を大切に、生徒の自己実現を目指して取り組む教職員
- ・変化に対応し、学び続ける向上心をもっている教職員

目指す学校像

- ・自ら学び、自ら考える学習を進めることにより個性の伸長を図り、学ぶ意欲を高める学校
- ・社会性を備えた人間関係を経験させ、相互に尊重し認め合う心を育てる学校
- ・地域に根差し、信頼され期待される学校

重点課題

- 1 「確かな学力」の育成に向けて
 - ◆「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の推進
「対話力」をテーマとして研究活動
家庭学習と授業の関連・評価材料の確保について検討していく。
 - ◆TT 授業の積極的活用
TT の手法についての研究・分割授業の試行等
 - ◆総合的な学習の時間の内容再構成・体系化
キャリアの視点、カリマネの視点からの整理。(一例として振り返りの工夫)
取組の中で、探究思考のサイクルを回す。【課題設定→情報収集→整理分析→まとめ表現】

- 2 「豊かな心」の育成に向けて
 - ◆多様性を正しく理解・認識し、互いを尊重し、共に成長し合う集団作りの推進
 - ◆道徳教育の充実により、支え合い高め合う集団作りの推進
- 3 「健やかな体」の育成に向けて
 - 自らの健康、保持増進を図り、望ましい生活習慣を実践できる資質の育成
- 4 「よんきゅう絆プロジェクト(4中9小一貫教育)」の継続・推進
 - ◇生徒の自己指導力の育成(自己理解を深める・目標と振り返り)
 - 桜美林大学小関研究室の研究活用
 - 「自身のストレスに対する理解」「ソーシャルスキルトレーニング」等のプログラムに参加
- 5 その他
 - 《施設管理、働き方、環境の改革改善について》
 - ◇施設管理について
 - ・コミュニティプラザ事業の継続
 - ・完全下校後の施設開放については原則なし(校舎内は除く)
 - ◇平日の出勤・退勤時間の設定
 - ◇データ管理
 - ・鍵の管理・データ持出し
 - ◇部活動の体制整理
 - ・外部委託やエリア制部活動、部活動指導員や外部コーチの配置について